

2018年12月期 第3四半期決算 Q&A資料



CNC立形複合研削盤
CVG-6

株式会社 太陽工機

【質問】

Q:2018年度第3四半期の業績についてP3

Q:2018年度の通期売上計画の達成確度は？P3

Q:2018年度の通期営業利益はどうか？P4

Q:来期2019年度の業績は？P4

Q:配当金についてP5

Q: 2018年度第3四半期(7-9月)の業績について

A: 2018年度第3四半期(7-9月)の売上台数は61台となり、自動車関連企業向けと産業機械関連企業向けを合わせた42台(台数比率68.8%、売上高比率68.1%)が寄与しております。利益面では、複数台ロット生産による生産効率アップで収益性が向上し、営業利益率は17.3%(第2四半期(4-6月)の営業利益率16.0%)へと改善しました。

Q: 通期売上計画の達成確度は ?

A: 2018年度第3四半期累計(1-9月)の売上高7,051百万円は、通期計画に対する進捗率では73.4%となります。

第3四半期(7-9月)の生産は順調で、月平均約22~23台程度で推移しました。今後、年度末へ向けて更にペースアップを図り、月平均25台程度を見込んでおります。

第4四半期(10-12月)は、引続き、産業機械関連企業及び自動車関連企業向けの大口径案件による売上増が見込まれるため、通期売上計画を達成し、更なる積み増しを目指してまいります。

Q:2018年度の通期営業利益はどうか？

A: 2018年度第3四半期累計(1-9月)の営業利益1,192百万円は、通期予想に対して進捗率79.5%となります。

第3四半期累計(1-9月)は、作業効率の改善や複数台ロット生産での生産効率アップにより、売上台数183台に対する売上原価率69.6%(2017年度通期売上台数208台、売上原価率70.5%)と、利益率が向上しております。第4四半期(10-12月)も引続き同水準で推移する見通しです。

計画通りに売り上げ、営業利益は通期予想15億円(営業利益率15.6%)以上の積み増しを目指しております。

Q: 来期2019年度の業績は？

A: 来期については、まずは2018年9月末時点9,758百万円の受注残高を確実にこなした上で売上が積み増し出来るように、生産能力の向上を図ってまいります。現状の生産能力から、売上は今期比10%程度の増加を見込んでおり、月当たりの生産台数25台を最低クリアすべきラインとして取り組みます。利益面は、今期と同水準の営業利益率(今期営業利益率予想15.6%)を下限として計画しています。

受注については、ロボット・減速機関連の受注に落ち着きが見えるものの、依然として設備投資需要が活発な自動車関連、産業機械関連企業向けを中心に、幅広い産業から設備投資需要を取り込んでまいります。

Q: 配当金について

A: 2018年度は、1株当りの配当金を80円(利益予想に対する配当性向は23.6%)としております。中間期40円は2018年9月14日(金)にお支払い済み、期末40円を12月31日(月)を基準日としてお支払いする予定です。

期末の配当金については、新工場の建設等の設備投資資金を考慮して、現状は据え置きとしております。

なお、今回の株式分割は2019年1月1日(火)を効力発生日としておりますので、配当基準日を2018年12月31日(月)とする期末配当金(1株当たり40円)は、株式分割前の株式が対象となります。

お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成したのもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問合せ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL :0258-42-8808

URL :<http://www.taiyokoki.com>